

鎌倉の地形発達史

Holocene Geomorphic Development in Kamakura, Central Japan

上本進二

はじめに

① 鎌倉の地形発達史

【論文要旨】

鎌倉の縄文海進以降の地形発達史を8枚の図で示した。海岸線の変化は遺跡の調査結果によって行った。

約6000年前、鎌倉低地は海進によって水没していた。その後の海退、砂州・砂丘の形成、地盤の隆起によって次第に陸地化していった。弥生時代以後、丘陵の麓を中心に鎌倉低地にも集落が立地する。奈良時代から平安時代には集落や役所が立地するようになり、平安時代末期からは急速な人工地形改変が始まる。中世の爆発的な人口増加によって低湿地の乾燥化が進み、山稜部は軍事要塞化のための地形改変が行われた。